

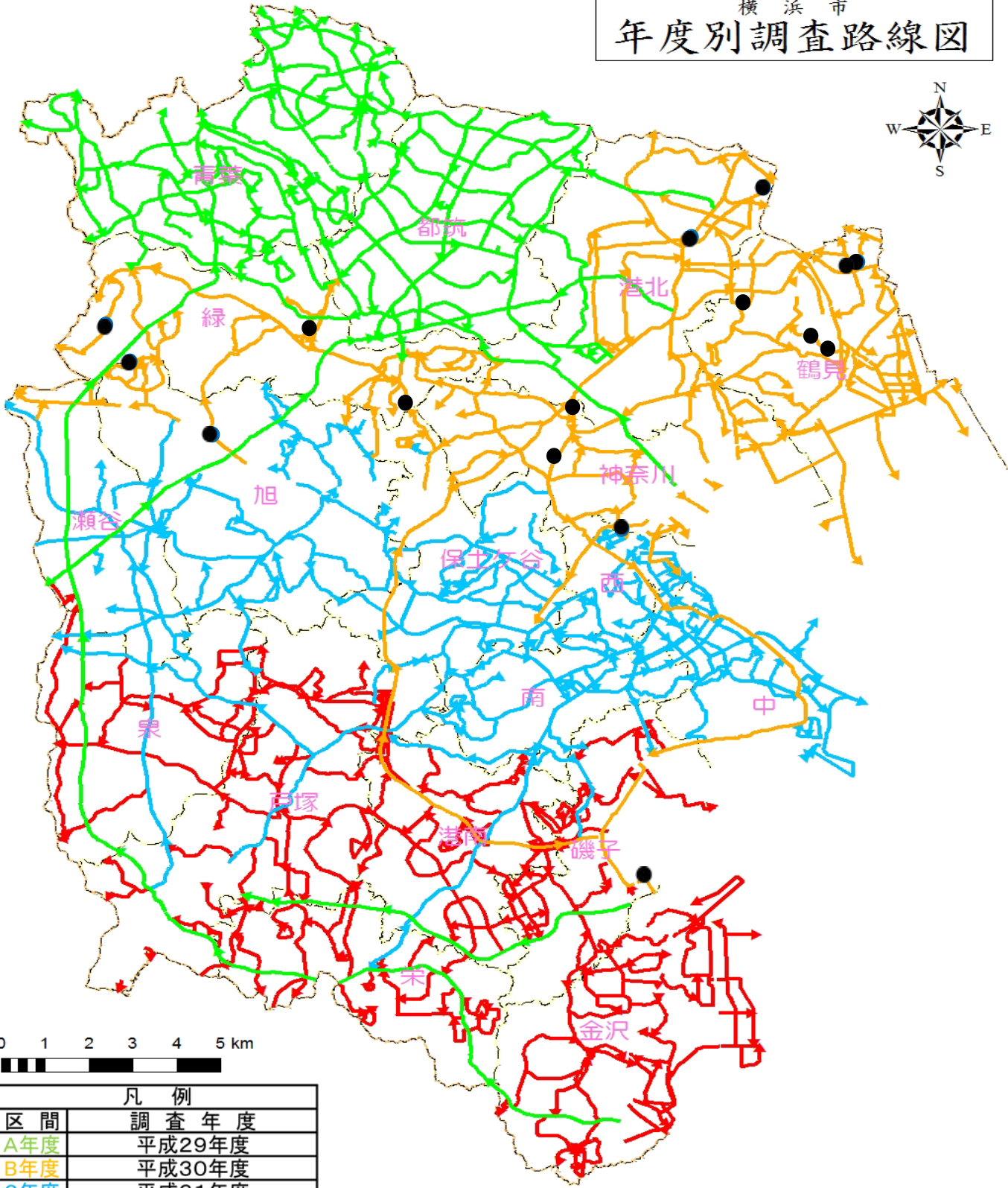
◆ 路面性状調査

路面性状調査とは、路面性状自動測定装置の性能確認試験（一般財団法人土木研究センターにて実施）に合格した測定機器により、舗装のひび割れ・わだち掘れ・平坦性及びパッチング箇所数を調査し、そのデータを基に道路の現状を把握する調査です。横浜市では、バス通りなどの幹線道路約 1,000km を 4 分割し、毎年約 250km 程度を調査しています。平成 30 年度は、市西部の緑区、沿岸部の鶴見区・神奈川区を主とした範囲で 254 km の調査を行いました。

◆ 主な損傷結果

区 名	調査路線数及び距離	2019 年度までの補修箇所	
鶴見区	3 路線、250m	5 箇所	県道太田神奈川線ほか 2 路線
神奈川区	3 路線、150m	3 箇所	新横浜通りほか 2 路線
旭 区	2 路線、100m	2 箇所	若葉台市道ほか 1 路線
磯子区	1 路線、100m	1 箇所	杉田臨海緑地付近
港北区	2 路線、150m	2 箇所	綱島街道ほか 1 路線
緑 区	3 路線、150m	3 箇所	中山駅前ほか 2 路線
計	14 路線、0.9km	16 箇所	

横浜市 年度別調査路線図



0 1 2 3 4 5 km

凡 例	
区 間	調 査 年 度
A年度	平成29年度
B年度	平成30年度
C年度	平成31年度
D年度	2020年度
●	主な損傷箇所

横浜市建築局 都市計画基本図データ及び行政界データにより作成

【損傷事例】

